

「平成30年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果について

和寒町教育委員会

スポーツ庁は、12月20日、小学5年と中学2年を対象とした「30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を公表しました。この調査は、児童生徒の体力・運動能力の向上に関する施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、子どもの体力・運動能力向上に関する継続的な検証サイクルを確立することなどを目的としています。その結果本道の実技調査の体力合計点は、小中男女いずれも依然として全国平均を下回っているものの、前年度に比べて小学校女子と中学校男子で上昇し、現行調査では過去最高値を記録し、小学校女子、中学校男子で全国の差が縮まりました。

全国平均を上回った種目は、小学校の男女が「握力」「ソフトボール投げ」、中学校の男子が「握力」でした。全国との差を縮めた種目数は、小学校が8種目中、男子が2種目、女子が5種目となり、中学校が9種目中、男子が3種目、女子が6種目でした。小学校女子の「握力」は、全国との差が広がる結果となりました。

本町の小・中学校の児童生徒の結果は、全国平均との比較で以下の通りとなりました。

種目	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20m シャトル ラン(回)	50m 走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール 投げ(cm)	体 力 合計点
全国平均	16.54	19.95	33.31	42.10	52.15	9.37	152.24	22.15	54.21
和小男子	17.62	24.31	33.85	42.38	40.38	9.45	161.15	40.38	54.92
全国平均	16.15	18.96	37.62	40.32	41.88	9.60	145.94	13.77	55.90
和小女子	18.11	19.67	39.56	46.11	38.56	9.79	156.44	17.56	59.89

種目	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20m シャトル ラン(回)	50m 走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール 投げ(cm)	体 力 合計点
全国平均	28.84	27.36	43.44	52.24	86.06	7.99	195.62	20.55	42.32
和中男子	32.00	27.22	38.67	53.56	60.89	8.76	205.78	24.00	40.22
全国平均	23.87	23.87	46.22	47.37	59.87	8.78	170.26	12.98	50.61
和中女子	24.44	20.89	49.28	45.83	61.17	9.40	172.94	15.83	50.06

この結果から、体力合計点をみると、小学校男女で全国を上回り、中学校女子は全国と同程度となったものの、男子は全国平均を下回りました。種目別では小学校男女の「20m シャトルラン」「50m 走」を除き6種目で全国を上回りました。一方中学校男子は、「握力」「反復横とび」「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」で全国を上回り、女子は「握力」「長座体前屈」「20m シャトルラン」「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」で全国を上回りました。

また、小学校児童質問紙では、「運動やスポーツをすることが好き」、「運動やスポーツは大切なもの」、「家の人から運動やスポーツを積極的に行うことをすすめられる」「体育の授業は楽しい」と回答した児童が全国を上回りました。一方中学校生徒質問紙では、「保健体育の授業は楽しい」「家の人から運動やスポーツを積極的にすすめられる」と回答した生徒が全国を上回りました。また、女子では、「運動やスポーツをすることが好き」、「運動やスポーツは大切なもの」と回答した生徒が全国を上回りました。

このことから、地域や家庭の運動への関心の高さが後押しとなり、部活動や地域のスポーツクラブに所属し運動に取り組み自己肯定感を高めている様子がうかがえます。しかし、一面では「自分の体力・運動能力に自信がない」と回答している児童生徒もおり、「できた!」という達成感の弱さを感じます。また、全体的に「朝食・夕食の時間が決まっていない」「テレビ等の視聴が長い」等生活習慣の課題も見られます。

今後、各学校においては、この調査結果をもとに内容を精査・検証し、更なる体力向上に向けた取組や支援を行ってまいります。また教育委員会としても、「スポーツの町和寒」の子どもたち一人一人に生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるために、体力の向上に向けた取組を学校・家庭・地域・行政が一体となって推進してまいります。